

番号	18																																					
事業名	急傾斜地崩壊対策事業			事業主体	静岡県																																	
ふりがな	さくらぎちょう			関係市町	熱海市																																	
箇所名	桜木町No. 3																																					
事業採択年度	令和3年度		計画期間	令和4年度～令和13年度																																		
用地着手年度	令和8年度		工事着手年度	令和9年度																																		
再評価理由※	事業採択後5年経過																																					
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計																																
	500		22	1	4	27																																
事業概要	(1) 事業目的 桜木町No. 3急傾斜地は、熱海市桜木町の市道和田上多賀線より上方に位置し、保全人家24戸を含む、がけ高50mを超える斜面である。急傾斜地崩壊対策として待受擁壁工及び法面工を施工し、被害を未然に防ぐ。 (2) 事業内容 施工延長：187 m 待受擁壁工：181 m 法面工：1,111 m²																																					
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、全国で局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生している。事業着手した令和4年度からこれまでに熱海市内では6件の土砂災害が発生している。 熱海市内においても昨今の台風や大雨により土砂流出や落石被害が発生していることから、本箇所においても対策は急務である。 (2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和8年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>10.2</td><td>17.5</td><td>23.7</td><td>18.4%</td></tr></table> ・総便益 (B) 38.1 億円（平均便益：0.6億円） ・総費用 (C) 3.7 億円（建設費：3.7億円、維持管理費：0.04億円、用地残存価値：0.06億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） ・がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3) 事業の進捗状況（令和8年度見込み） <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>5.4%</td><td colspan="2">(27 百万円 / 500 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>待受擁壁工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 181 m)</td></tr><tr><td>法面工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m² / 1,111 m²)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m² / 1,500 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当						B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	10.2	17.5	23.7	18.4%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		5.4%	(27 百万円 / 500 百万円)		事業量	待受擁壁工	0.0%	(0 m / 181 m)		法面工	0.0%	(0 m ² / 1,111 m ²)		用地取得		0.0%	(0 m ² / 1,500 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																			
10.2	17.5	23.7	18.4%																																			
区 分		進捗率	内 訳																																			
事業費		5.4%	(27 百万円 / 500 百万円)																																			
事業量	待受擁壁工	0.0%	(0 m / 181 m)																																			
	法面工	0.0%	(0 m ² / 1,111 m ²)																																			
用地取得		0.0%	(0 m ² / 1,500 m ²)																																			
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 長年交渉が滞っていた用地関係者との問題も解決し、現在、用地買収を行うための調整及び、急傾斜地の指定手続きを進めていることから、事業継続の見通しが立っている。 地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和13年度完了を目指す。 評価 継続が妥当																																					
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 法面工の受圧板において、軽量で施工性の良いアンカーパネルを採用するとともに、アンカー本数が少なく、経済性に優れるような掘削勾配を検討した。また、活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト削減と工期短縮を図っていく。																																					
対応方針（案）	(1) 対応方針（案） 本事業を【 継続 】する。 (2) 理由 地元住民からの要望も強く、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。																																					

1. 位置図

【主な保全対象】

- ・ 人家：24戸
- ・ 市道：市道和田上多賀線

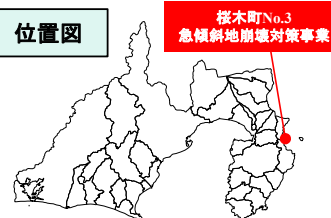
凡 例

名 称	記 号
急傾斜地崩壊危険区域	
被害想定区域	
人 家	
既 指 定 地	



施工延長L=187m

位置図



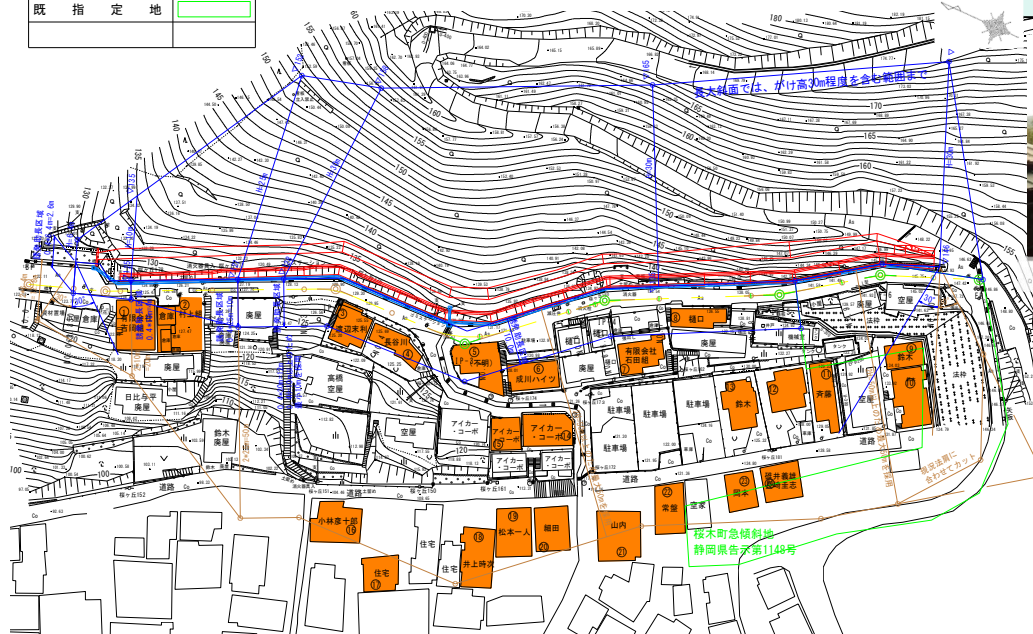
保全対象



斜面下状況



家屋近接状況



2. 事業概要

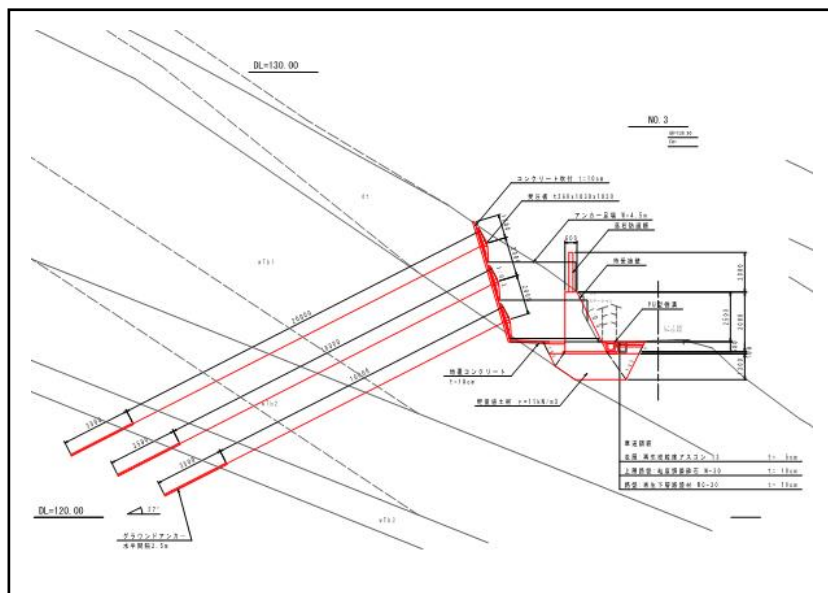
事業目的

桜木町No.3急傾斜地は、熱海市桜木町の市道和田上多賀線より上方に位置し、保全人家24戸を含む、がけ高50mを超える斜面である。急傾斜地崩壊対策として待受擁壁工及び法面工を施工し、被害を未然に防ぐ。

事業内容

急傾斜地名：桜木町No.3（熱海市桜木町地先）
 計 画 期 間： 令和4年度～令和13年度
 事 業 費： 500百万円
 事 業 量： 施工延長L=187m
 待受擁壁工L=181m、法面工A=1,111m²

標準断面図



3. 桜木町No.3の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回(R3)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R13 (+5年)	・用地買収の大部分を占める地権者との用地交渉に時間を要したため、完了年度を延伸した。 ・対策施設規模が増大したことにより、当初より建設に要する時間が増大したため、完了年度を延伸した。
②全体事業費	200百万円	500百万円 (+300百万円)	・地質調査を反映した詳細設計を実施したところ、当初想定より対策施設の規模が増大し、費用を要することが判明したため増額した。 ・資材単価、労務費単価の著しい高騰のため増額した。

4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 38.10億円

- ☐ 直接被害
・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
・営業停止、交通途絶、人的被害（精神損害）

総費用（C）

総費用 3.74億円

- ・建設費
- ・維持管理費
- ・用地費



費用対効果(B/C):10.18 経済的内部収益率(EIRR):18.4%

前回の費用対効果(B/C):7.6

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

遠方にいる地権者で、用地買収の条件も隔たりがあったが、継続的な用地交渉により、事業への理解が得られた。

（R 6：3回、R 7：2回）

今後は地元説明会を開催し、熱海市と連携しながら急傾斜地の指定を進める予定
